会議報告書（概要）

| | |
|---|---|
| 会　議　名 | 令和８年度矢板市総合戦略検証委員会 |
| 日　　時 | 令和８年 10 月８日（木）　15 時 00 分から 17 時 00 分まで |
| 場　　所 | 矢板市役所　本館３階　第一委員会室 |
| 出　席　者 | 矢板市総合戦略検証委員（欠席者１名） |

**１　開会（１５：００）**

**２　挨拶**

**３　議事**

**（１）委員長及び副委員長選出**

○委員長及び副委員長の選出方法について、事務局に一任することが了承されたため、委員長及び副委員長をそれぞれ推薦し、了承された。

**（２）デジタル田園都市国家構想交付金等に係るＫＰＩの令和７年度実績値の報告について**

**（３）矢板市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係るＫＰＩの令和７年度実績値の報告について**

○議事（２）及び（３）について、資料に基づき事務局から説明を行った。

【質疑・意見等】

○委員から出た主な意見は以下のとおり。

・企業誘致数は目標を上回っているものの、それが人口減少の抑制や市民の雇用創出につながっているか、実態を把握する必要がある。工業団地内の従業員数や市民の雇用状況を確認するとともに、市民の雇用創出につながる企業の誘致を進めてほしい。
・女性・若者雇用創出プロジェクトについては、セミナーや就労イベントの参加者数だけでなく、実際の就職者数など、事業の成果を把握できる指標が必要である。また、市内高校卒業生の市内就職者数や卒業生全体の人数を把握するとともに、離職した若者を市内企業につなぐ仕組みも検討してほしい。
・創業支援については、講座等の参加者数だけでなく、実際の創業者数など、成果を確認できる指標も必要である。一方、セミナー等の参加者数は、創業に向けた土壌づくりの進捗を測る指標としても意義がある。
・女性や若者の定着に向けては、女性の声を直接聞き、就業や創業がしやすい環境づくりを進めるとともに、女性が働きやすい職場環境の整備や市内企業の魅力発信に取り組んでほしい。
・新たな企業やビジネスの創出を教育と連携させ、矢板ならではの学びの機会につなげてほしい。
・若者や高校生が地域への愛着を持ち、将来も矢板市に住み続けたいと思えるよう、地域の魅力を伝える教育や、若者自身が総合戦略や新たな矢板ブランドづくりに参画できる仕組みを検討してほしい。
・矢板市の自然環境や交通アクセスなどの強みを生かし、地域の魅力を高めてほしい。また、道の駅や観光施設等において、矢板市のロゴを活用した商品や地域ならではの商品づくりを進めるとともに、農業のブランド化や生産者の確保、グリーンツーリズムの推進により、地域資源の魅力を発信してほしい。
・八方ヶ原の観光入込数は増加しているものの、目標値との乖離があるため、施設の特性や市場規模を踏まえた目標設定が必要である。また、スポーツ合宿の利用者が夜間に飲食できる場所が少ないとの声もあることから、周辺の飲食環境の整備や観光との連携を検討してほしい。
・農業では後継者不足が深刻化しており、農地の維持や営農継続に不安を抱える農家もいる。農地の集積・集約化だけでなく、担い手不足への対応が必要である。

・自主防災組織の設置促進に向け、消防団と連携した訓練等を進める必要がある。また、消防団員の減少や高齢化が進んでいることから、地域の防災力を維持するための団員確保や活動体制についても検討してほしい。
・病児保育など、病院と市が連携した取組は重要である。
・市役所庁舎などの公共施設は、市のイメージや若者人材の確保に影響することから、環境改善を検討してほしい。
・女性キャリアサポート事業等を通じて市内企業に就職した人について、矢板市を選んだ理由や実際に働いて感じた生活環境など、定性的な情報も収集・分析してほしい。分析ツールも活用し、数値だけでは把握できない課題や強みを明らかにすることが望ましい。

**（4）その他**
特になし。

**4　その他**

**5　閉会（１７：００）**